



『越生七福神めぐり』

動画制作秘話を紹介します

FILM



年で40回目を迎える恒例の「七福神めぐり」をテーマにプロモーション動画を作成しました。ここでは、監督を務めた宮崎健太さんと制作秘話について紹介をします。

監督・宮崎健太さんに聞きました

動画制作お疲れ様でした。ありがとうございます。

制作前のお気持ちを教えてください

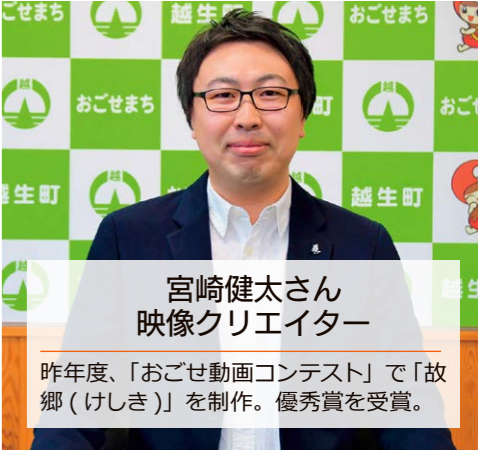
私は映像制作を始めるきっかけが「越生町を盛り上げたい」という気持ちでした。「越生町にこんな一面もあるんだぞ!」と伝えたい想いと、なにより観てくれる皆さんが楽しんでいただける、「越生の神様や七福神巡りに興味を持ってもらえるものを創ろう!」という想いでいっぱいでした。

力を入れたこと意識したことは

「全て」です。笑

強いて言えば、私は企画したチームメンバーに聞いた出演者の情報だけで脚本やコンテを準備しました。撮影時に思っていた以上の素晴らしい演技をしていただいたので、後々出演者それぞれの個性が活かせるように編集演出、BGM等を何度も練り直しました。

特に今回の作品の見せ場である町長のシーンは、とにかく一番迫力が出るように意識したので、映像が長尺だったのでテンポよく、それでも間を大事にしながらBGMや効果音などで飽きさせないよう工夫しました。



宮崎健太さん
映像クリエイター

昨年度、「おごせ動画コンテスト」で「故郷(けしき)」を制作。優秀賞を受賞。

大変だったところを教えてください

本来、映画やドラマは監督、カメラマン、音声等がそれぞれの持ち場でそれぞれの技術を活かしながら撮影に挑むのですが、今回はワンオペ(音声マイクは持ってもらいましたが)でしたので自分一人で演技、画角、カット割り、音声を気にしながらの撮影となりました。
今思うと、大変なことをしていたなと思います。

普段の仕事は何をされていますか?

普段の仕事はこれと決まったものではなくて、婚礼の映像や、企業PV、マニュアル動画等様々なジャンルを制作しています。私の同級生が経営している山口写真館の映像担当もしておりますので、映像でお困りの方がいらっしゃいましたら是非ご相談ください。

越生町がこうなったらもっといいのと思う所、今後やってみたいことを教えてください

実はすごいジレンマがあり、越生町がすごく盛り上がって欲しい反面、盛り上がって欲しくない自分がいます。越生町が盛り上がりすぎて至る所が人混みだらけみたいになっても、地元好きな私からするとそれは違います。

越生町の良さを感じるポイントには人それぞれですが、私



①撮影時ピンマイクを着用。撮影機材は宮崎さんの私物。②全洞院での撮影。ワンテイク撮影にも多くの職員が関わっています。③④法恩寺と越生駅にエキストラの皆さんが84名集まっていたいただきました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

▲七福神めぐり動画